

とっとりDXラボ 活動報告（令和3年度）

令和4年3月7日／鳥取県商工労働部産業未来創造課(事務局)

<1> 「とっとりIoT推進ラボ」→「とっとりDXラボ」に改組

- **ラボ主催事業（セミナー開催、普及活動等）を中心とする活動から、個々の県内企業によるDX導入等の取組支援を中心とする活動に移行。**

- ・令和3年度当初予算 「県内企業DX伴走支援事業」
- ・令和3年6月補正予算 「県内企業DX導入加速化補助金」

※ 現在、国(経済産業省)においても、「地方版IoT推進ラボ」から「地域DX推進ラボ」への移行が検討されている。

<2> 「県内企業DX伴走支援事業」

- **県内企業による「身近なDX導入事例」を創出し、横展開を図る。**

- (1) **令和3年10月に「県内企業DX伴走支援事業セミナー」を開催。**
DXの必要性・有用性への理解を深める。

- ※DX推進セミナー「地方中小企業の事例に学ぶ、自社に合ったDXの始め方・進め方」
・10/13(水) オンライン開催 52名参加(DX導入に関心のある経営者等、支援機関、金融機関等)

- (2) **セミナー参加企業からDXに取り組む県内企業(5社)を公募・選定し、各社の課題にマッチした専門家を決定。外部専門家が3か月間、県内企業のDXを支援する。**

- ※(株)ビザスクが県内企業の経営課題等をヒアリングし、伴走支援を行う外部専門家の候補者を選定し、県内企業とマッチング。専門家は各社の経営会議等に参画しながら、各企業に適したDXの実行を支援。

<3> 「県内企業DX導入加速化事業」(補助金)

- **企業のDXには、DXを推進できる企業内人材が不可欠。DX導入・DXを推進できる企業内人材の育成を両方支援する補助制度を創設し、システム導入と人材育成を一体的に支援した。**

- (1) **県内製造業・発展的DX導入事業（製造業対象） ⇒ 5社に交付決定済。**

- ※システム導入経費に加えて、外部専門家の指導を受け、導入システムを使いこなして業務改革を実践できる人材の育成経費を補助対象とした補助金。(補助限度額:5,000千円、補助率:1/2)

- (2) **県内企業・DXトライアル事業（全業種対象） ⇒ 6社に交付決定済。**

- ※県・商工団体等が実施するDX導入関連講座の受講による人材育成を要件に、システム導入経費等を支援する補助金。(補助限度額:500千円、補助率:1/2)

<4> 「ローカル5G活用実証試験」

- **境夢みなとターミナル（境港市）に「ローカル5G基地局」を開設。**

【ローカル5G電波の実運用における問題点等を検証する「ローカル5G活用実証試験」を実施】

※ミニクラシックコンサートを開催(オンライン配信)

- (1)日時 令和4年2月20日(日) 会場 境夢みなとターミナル
- (2)実証試験の内容 ① 高精細映像を5G通信でモニターに送信し、高速大容量送信機能について検証。
② 人流検知センサーで人の動きを常時収集し、混雑回避の注意喚起表示等を行う。
③ 自律走行テレプレゼンスロボットの遠隔操作を行い、通信安定性等を確認。

<5> 「未来人材育成」

- **米子東高校でのIoT人材育成事業** (令和3年11月13日 場所:米子東高校)
IoT機器の開発について学びながら、6チームが最終発表を実施。(同校生徒約20名)
- **鳥取大学での先端技術人材育成事業**
大学及び企業との連携により、IoT未来人材を継続的に育成。テーマは「イノシシのワナのIoT化」。
- **Web×IoTメイカーズチャレンジ PLUS（県は後援）** (令和3年12月18～19日、令和4年1月8～9日)
Web標準技術とIoT技術を実習形式で学び、さらに作品づくりに挑戦する体験型IoTシステム開発イベント。
・参加 県内小学生～大学生までの23名が参加(5チーム)